

泊村地域漁業振興実証計画の概要

後志総合振興局産業振興部水産課

計画概要

現状と課題

- 当地区では、「とる漁業」から「つくり育てる漁業」への転換を図り、漁業生産の拡大と漁業経営の安定に努めている。
- 一方、養殖業において漁場環境が要因と推定される種苗の大量へい死や成長の低下により収益が確保できなかった事例があることから、環境条件の変化に対応できる体制の整備が求められる。
- また、漁業者の減少・高齢化が進んでいることから、養殖業の生産体制構築には、種苗及び施設の管理において合理化・効率化を図ることが、必要となる。

取組内容

■トラウトサーモン及びサクラマス養殖業における漁場環境の変動に対応した生産体制構築の実証

【R3年度補助事業】

- ・事業主体: 古宇郡漁業協同組合
- ・事業内容: 多項目水質計1基、流速計1基、養殖用生け簀2基
- ・総事業費: 15,624千円(うち道6,649千円、泊村6,840千円、古宇郡漁業協同組合2,135千円)

期待される効果

○取組による海洋環境変化への対応

- ①継続的なデータ収集による養殖環境の把握
- ②得られたデータに基づく生け簀設置箇所の移動等、環境条件の変化に対応した種苗・施設の管理体制の構築

○取組による漁労作業の合理化・効率化

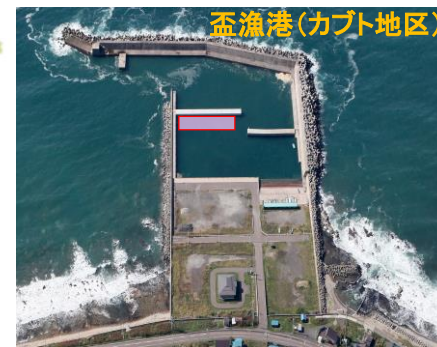
- ①給餌量等のデータと観測機器により得たデータの照合・分析による給餌回数の適正化及び餌料経費の削減

事業位置図等

【位置図】



【事業実施箇所】



施設設置状況



作業風景①(種苗投入)



作業風景②(餌料投入)

導入した観測機器

流速計



水質計

